

## 1 掛川市のごみ排出量

(単位: t)

年度	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ	合計	対前年比	資源化率	集団回収	リサイクル率	人口	世帯数
										10月1日現在	10月1日現在
R2	21,304	876	2,548	1,622	26,350	97.3%	9.7%	0	9.8%	117,175	45,784
R3	21,762	859	2,160	1,708	26,489	100.5%	8.2%	0	10.0%	116,569	46,230

### 【令和3年度】

#### (1) 燃えるごみ

燃えるごみの排出量が458 t 増加（前年比2.1%増）しています。

#### (2) 燃えないごみ

燃えないごみの排出量が17 t 減少（前年比1.9%減）しています。

#### (3) 資源物

資源物の排出量が388 t 減少（前年比15.2%減）しています。

#### (4) 粗大ごみ

粗大ごみの排出量が86 t 増加（前年比5.3%増）しています。

#### (5) 排出量についての分析

- 年間1人1日当たりのごみの排出量は、622.6gで前年度比6.5gの増加となっています。
- 内訳は、生活系ごみが490.1g（前年度比2.1gの減）、事業系ごみが132.5g（前年度比8.6gの増）となっています。
- 高い市民意識により生活系ごみが減少した一方、コロナ禍を経て事業活動が活発化したことにより事業系ごみが増加したことが要因であると考えられます。

## 2 掛川市のごみ処理経費

※組合負担金と収集運搬費用実績による

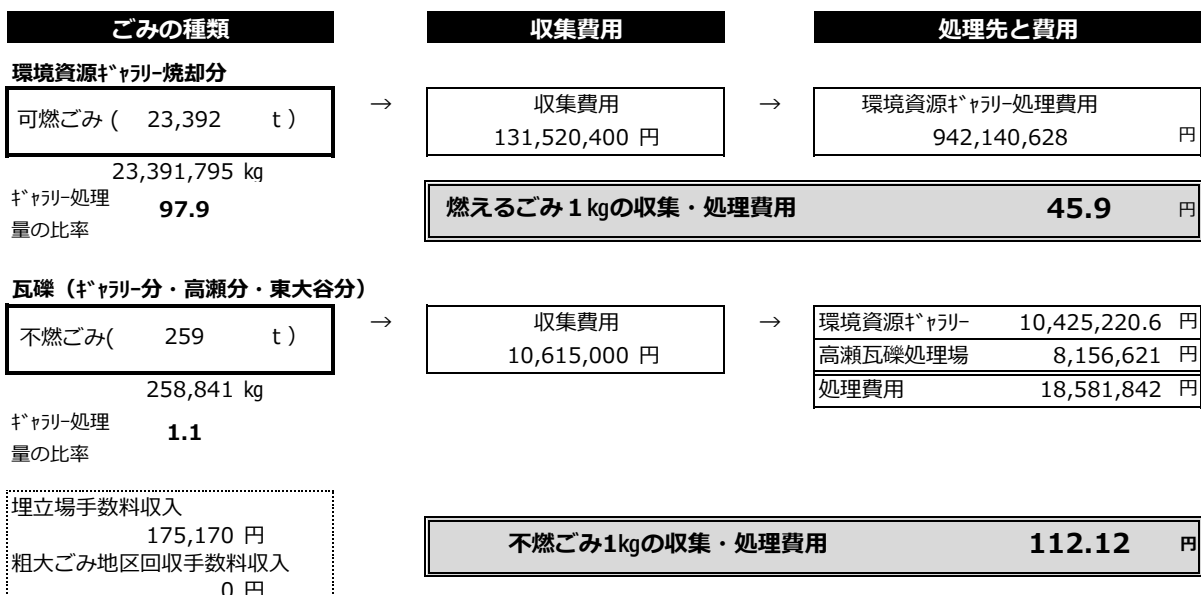
(単位: 円)

区分	ごみ処理費用	1人当たりの ごみ処理費用	1kg当たりの ごみ処理費用
可燃ごみ	1,073,661,028	9,260.2	45.9
不燃ごみ(瓦礫)	29,196,842	251.8	112.8
資源物	116,061,357	1,001.0	55.1
合計	1,218,919,227	10,513	***

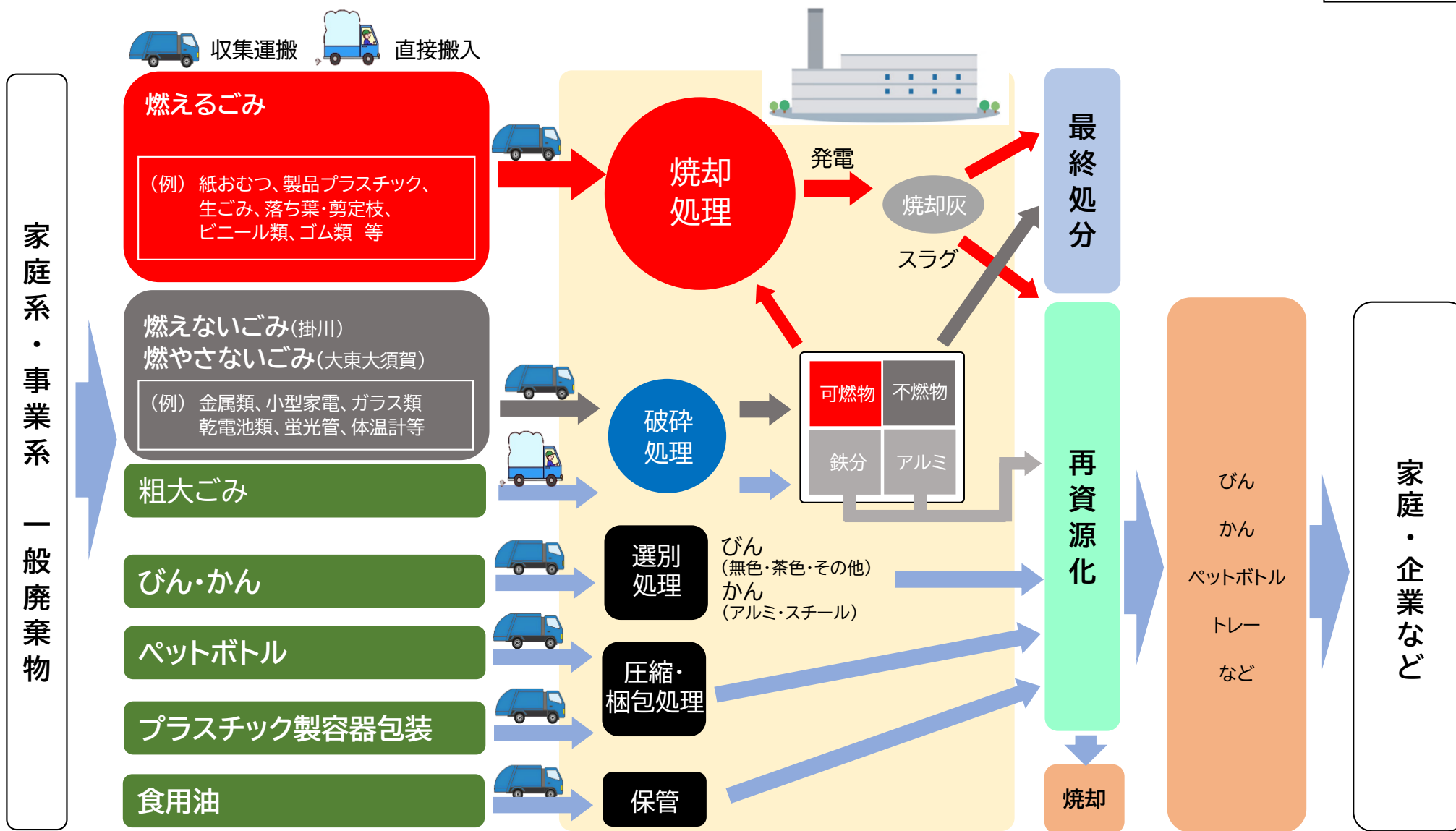
※資料：掛川市菊川市衛生施設組合負担金（掛川市負担金） **962,480,000** 円

※資料：令和4年3月31日 現在 掛川市人口 **115,943** 人（外国人含む）

※資源物については、集団回収量を除外した量で1kgあたりの単価を算出しています。

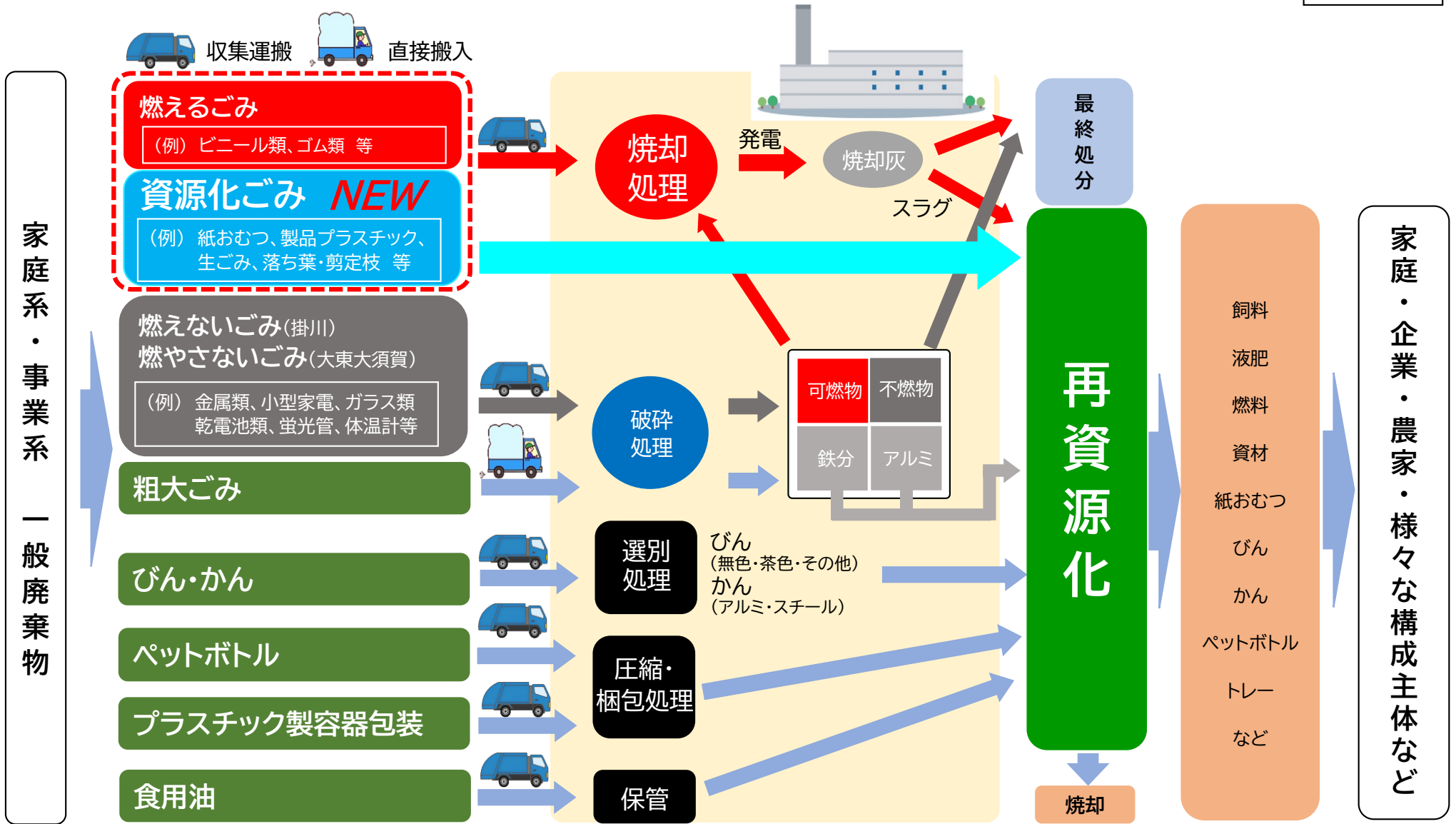


# 現在の 掛川市のごみ処理の流れ



※ごみ処理の一部を抜粋しております

# これからの 掛川市のごみ処理の流れ



※ごみ処理の一部を抜粋しております

# 掛川市の目指す姿

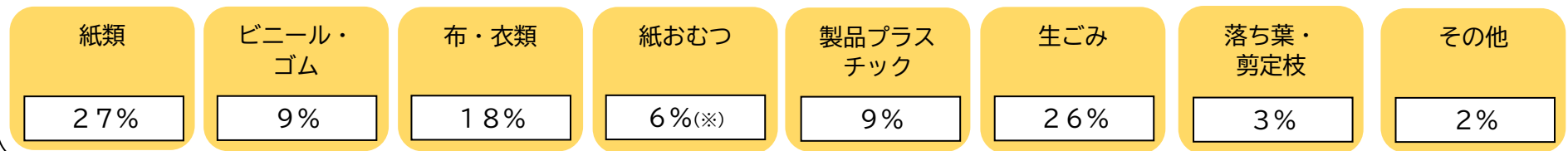
2030(令和12)年までに温室効果ガスの46%削減(2013(平成25)年度比)に向けた取り組みの実施

2050(令和32)年までにカーボンニュートラル(温室効果ガス排出量を実質ゼロにする)の実現を目指す

～ 焼却や埋立に依存しないごみ収集・処理スキームの構築(分別・リサイクルの強化) ～

イメージ

○現在の燃えるごみの内訳 ◆令和3年度燃えるごみ年間焼却量：約 23,451 t ※組成割合は平成30年度組成調査実績より算出



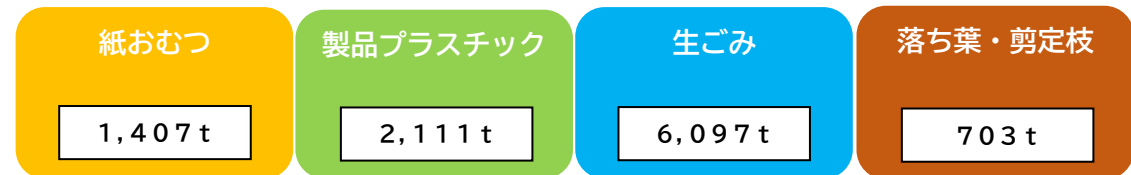
※紙おむつの割合は「環境省 使用済み紙おむつ再生利用等に関するガイドライン」より

- ・資源化できるごみの取り出し
- ・処理スキームの構築

○将来の燃えるごみの内訳



【新分別項目】資源化ごみ 計10,318 t(44.0%)の燃えるごみ量の削減



上記の条件で期待できる効果

